

会心のひろば

題字：倉林順一

◇コロナが発生したので学生も毎日が大変だと思いがすが、頑張ってもらいたいと思います。甘楽富岡九条の会や子どもの権利委員会、糖尿病の活動をしています。が、コロナウイルスの為、総会や会計監査など出来ずに大変ですが、早くコロナウイルスが良い報告があればと思います。

(富岡市) 藤井 幸一

◇誌上ギャラリーの作品がとてもきれいでした。万葉集の題材もすてきでした。万葉集は書に合っていて、良いですね。教育相談を受けていた方や現在受けている方より、とても励みになった、生きる力になり、一人で大変だと思っていたけれど、心が温かくなった等々の声をききました。大切な活動として、教育相談ががんばって下さい。

(高崎市) 二口 孝絵

◇たっぷりある時間のなか、ゆつくりと「育ちと学び」読みました。「スタジイ楽書会の書作品」の迫力にまず圧倒され、春山さんのレポートになるほどと共感し、誰もが誰かをバ

ツシングする今、堀さんのマイペースぶりになぜかほっとして勇気をもらいました。大貫さんのタイムリーな文章も参考になりました。どの記事からも、「緊急事態でも平時でも日々の生活、命が最優先ということ、そして自分の頭で考えることが大切なんだ」というメッセージが伝わってきました。

倉林さんの挿し絵、イラストも本当プロです。吉崎さんの似顔絵もよかったです！

最後に、今、私のおすすめ映画「きつとうまくいく」「人生フルーツ」、おすすめ本「自分の木の下で」「ヨーコさんの言葉」でした！

(高崎市) 堀込 康美

◇学校の休校期間が長引き、「すなっぷ」のような臨場感のある記事がないのは残念ですが、その分、じっくり読んで「教育・学校とは何か」を考えさせられるものが多かった。

休校で教育活動が停滞している今だからこそ、なかなか立ち止まらなかった「教育のあり方」について考える機会や、これからも疫病と共にあるであろう教育活動について、オンライン座談会のようなものを開催しませんか？ 思えば二月十一日の教育のつどいが、人がたくさん集まった最後の機会でした。部活動、働き方改革：人が頭を使うより、ウイルスという自然の存在は、何とパワフルなことか。

(伊勢崎市) 齋藤 理一郎

◆ご冥福をお祈り致します。(編集部より)

去る九月五日、共同研究者の深澤尚伊さん(前橋協立病院・小児科医師)が六十八歳にて亡くなられました。学習支援「ひろせ川教室」をたちあげ、反核医師の会など、幅広い活動で私たちを刺激して下さいました。



アマルフィの風景 深澤尚伊